

## 関東ふれあいの道を歩く（埼玉）①水源のみち

2020年（令2）7月24日池内淑皓

2020年4月5日（日）曇り。寒冷前線が近づいているが、まずまずの天気と云うことで出かけた。関東ふれあいの道は、今回から埼玉県に入る。最初のコースは前回歩いた「東京⑦山草のみち」の棒ノ嶺から埼玉県側の沢を下り、飯能市名栗湖に至るコースとなっている。

この沢は全体が石灰岩で名を「白谷沢」と言う。沢を下るより、遡行する方が素敵な渓谷であるから、私は敢えて埼玉県側から谷を遡行して棒ノ嶺（969m）頂上に向かうという行程を組んだ。

**関東ふれあいの道(埼玉県)全行程図**

距離	見所	所要時間(目安)	難易度
① 8.9 km	棒ノ嶺、白谷沢の渓流、有間ダム	3時間50分	▲▲▲
② 9.5 km	竹寺、子(ね)の権現、法光寺	3時間30分	▲▲▲
③ 14.5 km	伊豆ヶ岳、正丸峠、子(ね)の権現	6時間20分	▲▲▲
④ 15.6 km	刈場坂峠、大野峠、白石峠	6時間20分	▲▲▲
⑤ 13.1 km	大霧山、定峰峠	4時間40分	▲▲▲
⑥ 8.2 km	美の山公園、万福寺、二十三夜寺	2時間40分	▲▲▲
⑦ 8.8 km	宝登山、宝登山神社、岩畳	3時間10分	▲▲▲
⑧ 4.3 km	破風山、札立峠、水潜寺	2時間00分	▲▲▲
⑨ 14.3 km	城峯山、城峯公園、城峯神社	4時間50分	▲▲▲
⑩ 11.2 km	下久保ダム、神流湖、城峯公園、三波石峡	3時間00分	▲▲▲
⑪ 8.0 km	顔振峠、黒山三滝	3時間00分	▲▲▲
⑫ 22.0 km	関八州見晴台、ふな峠、つつじ山、大野峠	8時間10分	▲▲▲
⑬ 17.1 km	秩父高原牧場、登谷高原牧場、釜山神社	5時間40分	▲▲▲

※みどり自然課HPに詳細を記載しています。 ※靴マーク▲が多いほど、難易度が高くなります。

（首都圏自然歩道連絡協議会）

埼玉県の「関東ふれあいの道全行程図」①水源のみち～⑬高原牧場を通るみちまで



「埼玉県①水源のみち概念図」

飯能駅（西武線）→川又名栗バス停→登山口→棒ノ嶺→黒山→岩茸石山→高水山→軍畑駅（青梅線）



名栗湖、白谷沢、棒ノ嶺（棒ノ折山）拡大図

このコースは案内によると、白谷沢を遡行して棒ノ嶺に至る 5.2 km で、美しい石灰岩の溪谷の中を歩くスリル満点のコースとの事、関東ふれあいの道の中でも異色のみちとなっている（案内板）



川又名栗湖入口バス停→棒ノ嶺行程図



今日の最寄り鉄道下車駅は、西武鉄道池袋線 飯能駅



飯能駅から国際興業バス名郷行に乗車、川又名栗湖入口バス停で降りる



バス停の前には道標があるから、案内に従って有馬ダム方向に向かう



名栗湖の前には、これから歩く案内板があるので、良く調べてから行こう



関東ふれあいの道は有馬ダムの堰堤上を歩く（名栗湖）



「有馬ダム」入間川の支流有馬川を堰き止め、昭和 61 年 3 月に完成したロックフィルダム。灌漑・治水、また飲料水の確保をも目的として造られた。



登山道入り口、ここから棒ノ嶺まで白谷沢を遡行する事となる



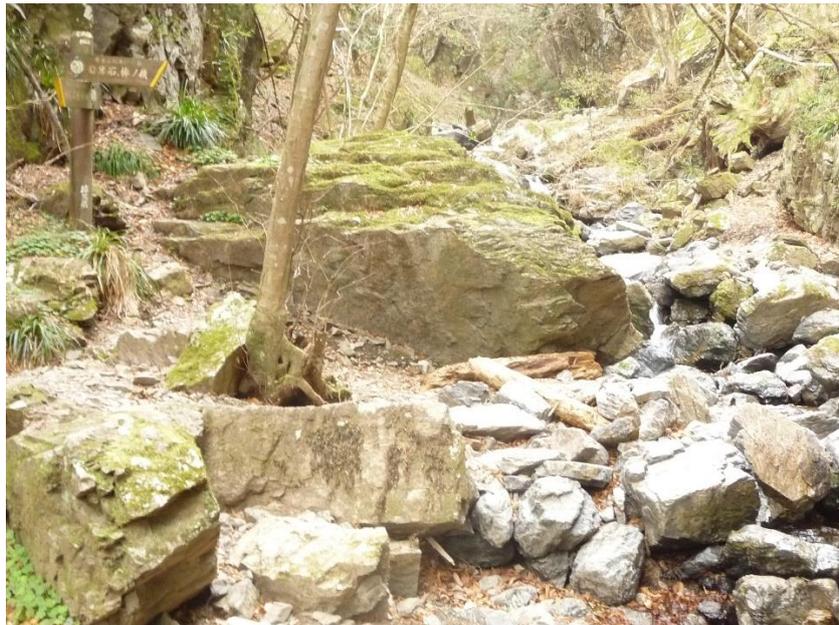
久しぶりに関東ふれあいの道石標があった



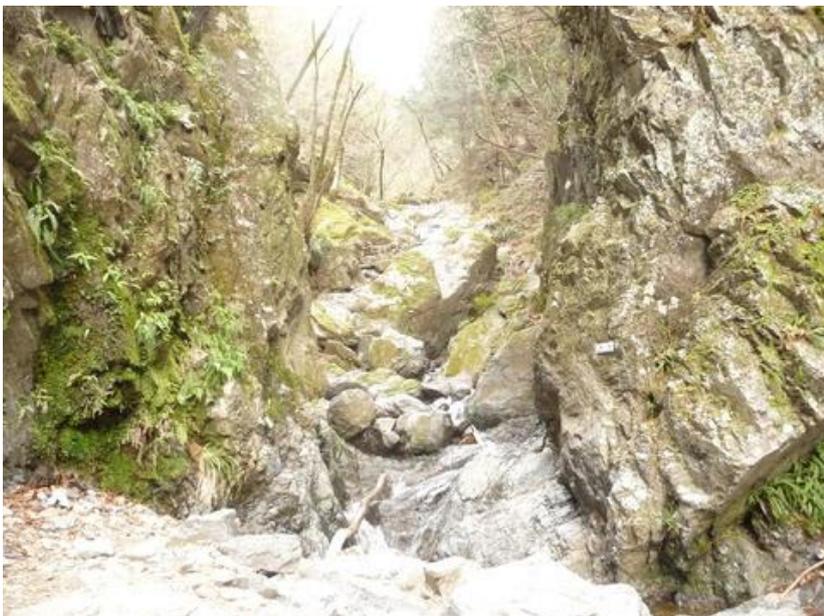
まずは「藤懸の滝」が現れた



まだまだ冬枯れの寂しい渓谷であるが、新緑の季節になると素敵な谷に変わるのだろう



谷が深くなってきた



ゴルジュの中を行く（両岸が切り立った岸壁で、狭まった細い谷筋）



「天狗の滝」



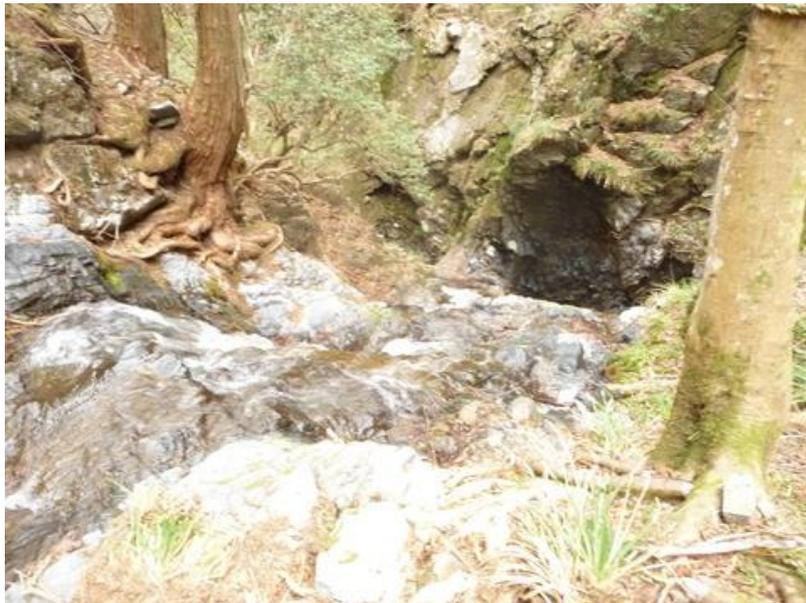
水しぶきの中が登山路となっている



白孔雀の滝は鎖で高巻きしながら、滝の上部に出る



「白孔雀の滝」 (鎖場の中で見えない)



白孔雀滝の上部



白孔雀の滝を過ぎれば谷も細くなり、源流に近い事を知る



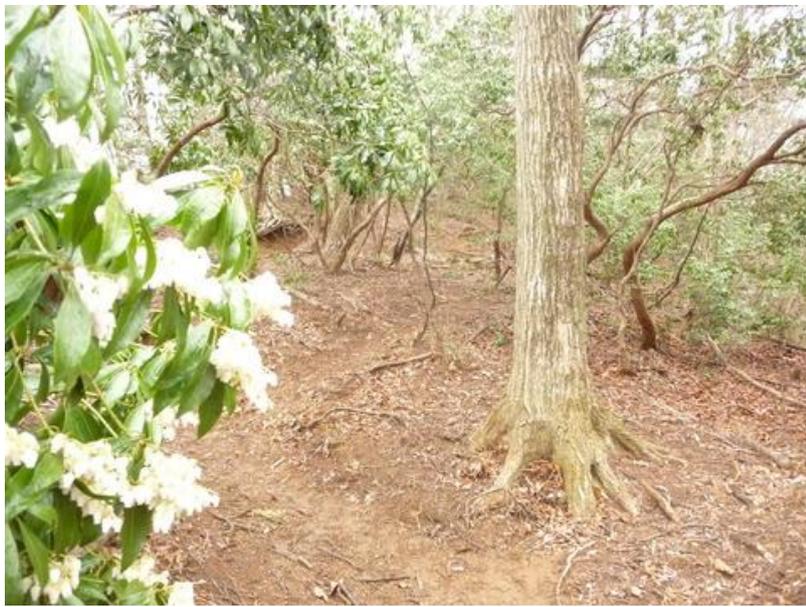
尾根に取りつくと、いきなり巨岩が現れる、岩茸石と言う



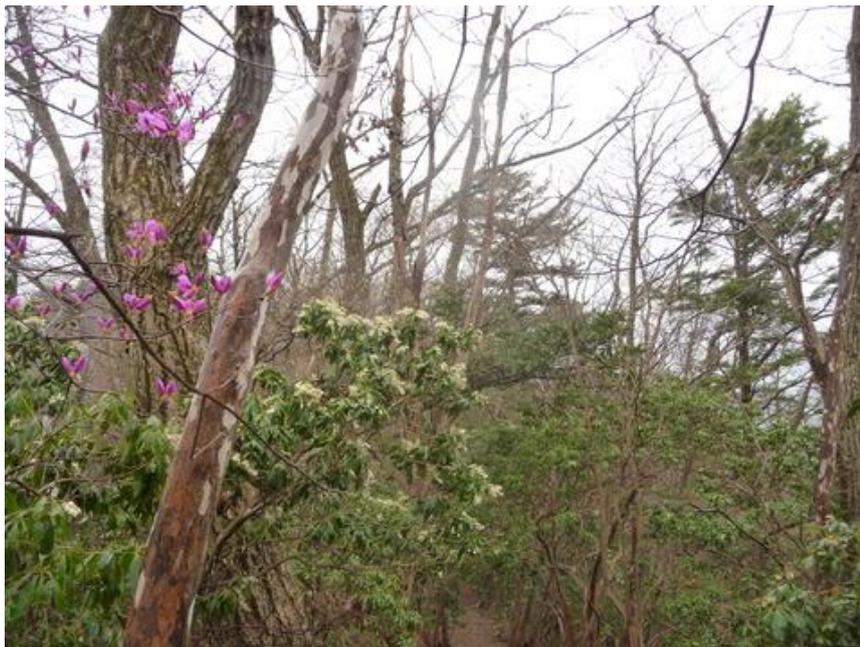
「ゴンジリ峠（権次入峠）ここは登山路の要衝で、棒ノ嶺、白谷沢、滝の平尾根、トウギリ林道、川井、御岳、軍畑方面へ多くの道を分ける



「棒ノ嶺（棒ノ折山）969m）12：45 到着。前線通過中でガスが渦巻き、雪が降ってきたので直ぐ下山する



黒山へは“あせび”のトンネルだ



黒山（842m）に向かうと高度も下がり雪止む。ミツバツツジと馬酔木の中、快適な尾根を下る。



黒山（842m）三等三角点が建つが、今日はガスられて景色が悪い



ここまで下ると、荒れた天気もすっかり穏やかになり、岩茸石山が見える



名坂峠で川井方面の道を分ける、日が差してきた



「岩茸石山 (793m)」 15 : 15 着、夕暮れが近くなってきた。後方の富士山状の山が棒ノ嶺山



高水山方面に道を取ると、快適な雑木林の巻き道を歩く



「高水山（759m）」頂上にはスマホの電波塔もあり、見晴らしもあまり良くない



「常福院（高水山不動尊）」高水山の裾にある、開創は9世紀智証大師の開基。  
本尊：波切不動明王。現在の不動堂は1822年再建だと云う



不動堂から一気に尾根を下り、谷を抜け、平溝の集落に向かう。



青梅線軍畑駅に 17 : 15 到着。

駅前でビールを買い 17 : 42 分発に乗車した。7 時間 40 分、20.5 k m、29 千歩であった。

[参考タイム] 飯能駅 (8 : 55 バス) →川又名栗湖入口バス停 (9 : 35) →登山口 (10 : 15) →白孔雀の滝 (11 : 15 (途中昼)) →棒ノ嶺 (12 : 45-12 : 55) →黒山 (13 : 30) →岩茸石山 (15 : 15-15 : 20) →高水山 (15 : 55-16 : 00) →軍畑駅 (17 : 15--17 : 42 発)

この項完

「関東ふれあいの道を歩く (埼玉) ②奥武蔵の古刹を訪ねるみち」に続く